2020.7　No.76

平和記念だより

◆編集・発行：高松市　人権啓発課　高松市平和記念館
◆連　絡　先：高松市松島町一丁目１５番１号
たかまつミライエ５階
TEL:087-833-2211　FAX:087-833-2244

イベントの中止・延期等について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、高松市平和記念館では、令和２年４月２２日（水）から５月１７日（日）までを臨時休館とし、５月２３日(土)に開催予定であった「平和を語るつどい・憲法記念平和映画祭」を９月以降に延期、７月４日(土)に開催予定であった「明日に伝える高松空襲」を中止といたしました。また、小学校４年生を対象とした平和記念館での平和学習も、現在、行っておりません。

今後のイベント等についても、新型コロナウイルス感染症の状況によって、変更になる可能性があります。皆様には、ご迷惑をおかけしますが、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

映像資料(DVD アニメーション作品)の紹介

高松市平和記念館では、平和意識啓発のための映像資料(DVD)を収集し、皆様に貸出を行っています。また、これらの資料は館内で閲覧することができます。平和学習の資料として、学校や地域、職場での研修等にご活用ください。

今回は、その中のアニメーション作品を紹介します。備考欄★１～★６の作品については、内容(ストーリー)を紹介していますので、参考にしてください。

番号	作　品　名	時間	備考
300	おかあさんの木	２３分	
301	君、知ってる？首都炎上　アニメ東京大空襲	18 分	
302	消えさらぬ傷あと　火の海・大阪	20 分	
304	１００ばんめのサル	17 分	
305	ちいちゃんのかげおくり	17 分	★1
315	対馬丸　―さようなら沖縄―	75 分	
316	かんからさんしん	78 分	★2
321	ぞう列車がやってきた	80 分	★3
326	おこりじぞう	28 分	
331	トビウオのぼうやはびょうきです	19 分	

番号	作　品　名	時間	備考
340	野坂昭如 戦争童話集１ 小さい潜水艦に恋をしたでかすぎるクジラの話(全３話)	64 分	
341	野坂昭如 戦争童話集２ 青いオウムと痩せた男の子の話(全３話)	72 分	
342	野坂昭如 戦争童話集３ 八月の風船(全３話)	70 分	
343	野坂昭如 戦争童話集４ 馬と兵士(全３話)	79 分	
347	せかいいち　うつくしい　ぼくの村	17 分	
348	チョッちゃん物語	80 分	
350	パパ　ママ　バイバイ	70 分	
352	お星さまのレール	76 分	
354	あした元気にな～れ！　～半分のさつまいも～	90 分	
355	ぼくの村にサーカスがきた	15分	
356	キムの十字架	80 分	
357	ふるさと ― JAPAN	98 分	
358	いわたくんちのおばあちゃん ～ぼく、戦争せんけえね～	20 分	★4
359	ガラスのうさぎ	83 分	★5
360	Paper Cranes Story　～ケンタとマイコ～	27 分	★6

★1 ちいちゃんのかげおくり

激しい空襲の中、お母さんとはぐれて一人ぼっちになったちいちゃん。まぶしい日ざしに目を覚ますと、家族みんなで「かげおくり」をする声が聞こえてきた。その声に誘われるように、ちいちゃんの体は空に吸い込まれていった。(17 分)

★2 かんからさんしん

太平洋戦争末期、ついに米軍が沖縄に上陸してきた。避難していたガマ(洞窟)の中で、手りゅう弾を手に死を覚悟する人々。それを思いとどまらせたのは、ガマの外から聞こえてくる島唄の懐かしい音色であった。(78 分)

★3 ぞう列車がやってきた

戦争が激しくなる中、「動物園の猛獣を処分せよ」という命令に抗い、象を守り抜いた名古屋の東山動物園の人々。戦後、日本でたった２頭生き残った象を見るため、各地から大勢の子どもたちを乗せた「ぞう列車」がやってくる。(80 分)

★4 いわたくんちのおばあちゃん ～ぼく、戦争せんけえね～

岩田くんのおばあちゃんは、みんなと一緒に写真を撮るのが大嫌い。同じ写真に写った自分以外の家族が、広島に投下された原爆で命を落とした悲しい経験があるからだ。そのことを知った寛太は、平和を願う気持ちを強くする。(20 分)

★5 ガラスのうさぎ

母と二人の妹の命を奪った東京大空襲。焼け跡から猛火により変形した「ガラスのうさぎ」を掘り出した敏子は、死んでしまった家族のためにも、平和な世界の実現を願いながら、たくましく生きていくことを決意する。(83 分)

★6 Paper Cranes Story ～ケンタとマイコ～

一羽、一羽の折鶴には、折った人の平和を願う強い気持ちが込められている。折鶴のケンタとマイコは、戦争や災害のない世の中を願う人々の思いを伝えるため、大勢の仲間とともに、戦地や被災地へと飛び立っていく。(27 分)

● 貸出期間は１週間、お一人様３枚までとさせていただいております。

◇ 貸し出しの際は、ご本人確認のため、本人確認書類(運転免許証、マイナンバーカード、パスポート等)の提示をお願いします。

◇ 紛失、損傷した場合は弁償していただきます。

◇ やむをえない理由で返却期限に間に合わない場合は、平和記念館までご連絡ください。

令和2(2020)年度　前期　行事予定

新型コロナウイルス感染症の状況によって、イベント等の開催を中止・延期する場合があります。

6・7月

● **高松空襲写真展**
６月２７日（土）～７月６日（月）
場　　所　高松市平和記念館　映像学習室
展示内容　高松空襲の被災写真・パネル・絵画

● **高松市戦争遺品展**
７月１４日（火）～７月２０日（月）
場　　所　瓦町 FLAG２階コンコース
展示内容　高松空襲と戦争に関する写真・パネル・資料

8月

● **高松戦災・原爆写真展**（高松市・高松市平和を願う市民団体協議会の共催）
８月８日（土）～８月１４日（金）
場　　所　IKŌDE 瓦町　展示コーナー（瓦町 FLAG8 階）
展示内容　原爆被災写真パネル・ポスターなど

平和学習

高松市平和記念館では、高松市内や近隣市町の小学４年生等を対象に平和学習を実施しています。また、小中学校の修学旅行前の平和学習や保育所・幼稚園等の見学受入も行っています。婦人会・職域などの団体での平和学習にもご利用できますので、お気軽にご相談ください。平和学習では、高松空襲を中心に、戦時下の生活や学校教育・戦後の復興などについて、映像や実物資料などをもとに学ぶことができます。

※　現在、平和学習は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休止していますが、再開に向けて準備中です。

収蔵品紹介 66 ≪最近の収蔵品より≫

水兵上衣（セーラー服）　　提供者　岡田　政行　様

寄贈者の父親が、海軍での兵役の際に使用していた水兵の制服の上衣である。父親は、通信兵として沖縄へも行ったらしく終戦とほぼ同時に呉に復員し、８月１６日頃、列車で高松へ帰還した。何もない高松の焼け野原の様子を目の当たりにし、がく然としたそうである。

水兵上衣いわゆるセーラー服であるが、今でも多数の国の海軍で水兵の制服として使用されているほか、子供服や女子学生の制服などのファッションとしても流行している。

セーラー服は、１９世紀に水夫の甲板（かんぱん）衣として誕生し、その後、イギリス海軍が最初に水兵の制服として全面的に採用してから世界中に広まったといわれている。日本でも 1872（明治５）年の大日本帝国海軍の服制改正によって、水火夫（すいかふ）（水夫のこと）の制服として使用された。セーラー服の特徴である大きな襟は、初期の頃には円形であったが、男性が自分で繕うのに簡単なため、方形になったといわれている。

※　参考文献：北村恒信著「陸海軍服装総集図典」

作品を募集しています！　子どもたちによる"平和なまち"絵画コンテスト 2020

高松市が加盟する平和首長会議では、全加盟都市の子どもたちを対象とした“平和なまち”絵画コンテストを実施しています。高松市でも次のとおり絵画作品を募集していますので、ご応募ください。

１　応募期間　令和２年５月７日(木)～10 月 30 日(金)

２　応募資格　高松市内に住んでいる６歳以上 15 歳以下の子ども(2020 年 11 月 20 日時点)

３　応募方法　応募される方は、10 月 30 日(金)までに絵画コンテスト申込書及び作品を高松市平和記念館へご提出ください。

※　高松市にてとりまとめて、平和首長会議事務局に提出します。応募作品の返却は行いません。

※　「６歳から 10 歳部門」と「11 歳から 15 歳部門」それぞれについて５作品ずつ選考し、スキャンした PDF データで提出します。

※　応募申込者や募集要項などは、下記ホームページアドレスでお確かめください。

編集メモ

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、高松市平和記念館でも、残念ながら啓発イベントの開催を中止・延期したものがあります。今後、新型コロナウイルスはどのような経緯をたどり収束に向かうのかは分かりませんが、現在、「令和２（2020）年度　前期　行事予定」の欄に記載のとおり、６月２７日から８月にかけて、各種の啓発ベントを開催する予定です。皆様の御来場をお待ちしております。

高松市平和記念館　開館時間：９時～17 時　休館日：毎週火曜日　入館料：無料

▼ホームページアドレス（平和啓発の推進事業がご覧いただけます）

http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/kurashi/shinotorikumi/jinken/keihatsu/heiwa/index.html